

大阪ト協海コン部会

渋滞緩和へ協力必要

DICT 駐車規制実施を

【大阪】大阪府トラック協会の海上コンテナ部会(山口与嗣雄部会長)は13日、役員会を開き、混雑の激しい夢洲地区における渋滞緩和などについて話し合った。夢洲は大阪万博の会場となることが決まっている上、IR(統合型リゾート)の誘致も計画されている。一方、大阪港で最新鋭の夢

洲コンテナターミナル(DICT)があり、搬出入車両の集中による渋滞が日常化し、輸送効率が悪化している。DICTへのアクセス道路では、翌朝のゲートオープン待ちを目的とした違法駐車が目立つなどから、阪神港海上コンテナ協会(山口会長)とも連携し、夜間

パトロールなどで解消に努めてきた。道路を管理する市港湾局に対しては、所轄の此花警察署に対し駐車規制の実施を働き掛けるよう要請を行っている。

同日の役員会では、こうした活動が続けていくことを確認するとともに、DICTにコンテナが集中している現状を踏まえ、開放するゲート数や時間帯といった運用面での協力も必要とする認識で一致。

更に、万博会場やIRの整備に伴う工事車両の流入により、更なる混雑も予想されることから、夢洲の開発計画については、引き続き「海コン事業者の事業運営に支障がないように進めてもらいたい」とするスタンスで臨むことを確認。必要に応じて関係先に要望を行っていく。

このほか、パトロールに関連し「順番待ちのため切り離された違法駐車シャシーを確認するだけでは、輸送を請け負った事業者を正確に特定できない。シャシ

ーを引き取りに来たトラックをチェックすべきではないか」との声が上がったことから、朝のゲートオープン前の実施も視野に入れる。

(小葉史和)